

特別企画展

令和4年8月5日

## エモーショナル・アジア 宮津大輔コレクション×福岡アジア美術館

日本のトップコレクターのひとりとして知られ、FaN Weekのチーフディレクターを務める宮津大輔氏所蔵のコレクションと、アジア美術館のコレクションを組み合わせ、アジアの歴史や現代社会、ジェンダーなどの今を生きる私たちに関わりの深い4つのテーマで、わかりやすくアジアの現代アートを紹介します。

会期中はアジア美術館での作品展示、映像作品上映会の開催のほか、3つのサテライト会場（ポートレース福岡、吉塚市場リトルアジアマーケット、博多旧市街幻住庵）など、あわせて、45作家95点の作品展示を行います。

FaN Week（9月23日～10月10日）最大規模の展覧会で、たくさんの方にアジアの現代アートの魅力を知っていただきたく、広報のご協力をよろしくお願いいたします。



チョン・ヨンドゥ(韓国)《奥様は魔女》2001年- 写真作品



サマック・ゴーセム(タイ)《Neverland》2017年 映像作品



ジョナ・ゾルタ(フィリピン)《無題》2013年



チェ・ジョンファ(韓国)《むくげ》2022年  
 ポートレース福岡会場展示作品 ※作者は平昌パラリンピック芸術監督

【会 期】 令和4(2022)年9月15日(木)～12月25日(日)

休館日：毎週水曜日(ただし11月23日は開館)、11月24日(木)

【観覧時間】 午前9時30分～午後6時(金・土曜は午後8時まで。入室は閉室30分前まで)

【会 場】 メイン会場：福岡アジア美術館 アジアギャラリー

サテライト会場：①ポートレース福岡 ※レース開催日のみ開場。入場料100円

②吉塚市場リトルアジアマーケット ③幻住庵

【観 覧 料】 一般500円/高大生250円/中学生以下無料

【主 催】 福岡アジア美術館、西日本新聞社

【特別協賛】 ポートレース福岡

【協 力】 (公財)福岡市文化芸術振興財団

〈問い合わせ先〉

Tel: 092-263-1100

Fax: 092-263-1105

学芸課/趙・栗原・ラワンチャイクン・山口



エモショナルアジア



チン・チンユエン (陳敬元)「終わりの物語」2010年、宮津大輔氏所蔵  
Chen Ching-Yuan (Taiwan) *The End*, 2010, Collection: Miyatsu Daisuke  
©Courtesy of the artist and TKG



リム・ソクチャンリナ (Lim Sokchanlina)「国道5号線」2015年、宮津大輔氏所蔵  
Lim Sokchanlina (Cambodia) *National Road Number 5*, 2015, Collection: Miyatsu Daisuke  
©Lim Sokchanlina, Courtesy of the nca | nichido contemporary art

EMOTIONAL ASIA

Miyatsu Daisuke Collection x Fukuoka Asian Art Museum



チェン・チンユエン (陳敬元)「終わりの物語」2010年、宮津大輔氏所蔵  
Chen Ching-Yuan (Taiwan) *The End*, 2010, Collection: Miyatsu Daisuke  
©Courtesy of the artist and TKG



リム・ソクチャンリナ (Lim Sokchanlina)「国道5号線」2015年、宮津大輔氏所蔵  
Lim Sokchanlina (Cambodia) *National Road Number 5*, 2015, Collection: Miyatsu Daisuke  
©Lim Sokchanlina, Courtesy of the nca | nichido contemporary art

福岡アジア美術館  
Fukuoka Asian Art Museum

観覧時間：9:30-18:00 (金・土曜日は20:00まで)  
※ギャラリー入室は閉室30分前まで

休館日：水曜日  
観覧料：一般500(400)円/高大生250(200)円  
中学生以下無料

※( )内は20人以上の団体  
※この料金で同時開催の「インド近代絵画の精華」展もご覧いただけます。

※以下を提示していただくと本展の観覧料は無料になります。  
身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者1人、特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人、福岡市、北九州市、熊本市及び鹿児島市で住所と65歳以上を確認できる証明書(運転免許証、健康保険証等)の提示者本人。

主催：福岡アジア美術館、西日本新聞社  
特別協賛：ボートレース福岡  
協力：公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団

Open 9:30- 18:00 (\*Until 20:00 on Fridays and Saturdays)  
Last Admission is 30 minutes before closing.  
Closed on Wednesdays  
Tickets: Adult/500(400) High school・College/250(200)  
Free for Junior High School and under  
\*( ) shows a price for an individual in a group of 20 or more.

Organized by Fukuoka Asian Art Museum and The Nishinippon Shimbun  
Special Assisted by BOAT RACE Fukuoka  
Cooperated by Fukuoka City Foundation for Arts and Cultural Promotion

FaN BOAT RACE 福岡  
Fukuoka Art Next



チェン・チンユエン (陳敬元)「終わりの物語」2010年、宮津大輔氏所蔵  
Chen Ching-Yuan (Taiwan) *The End*, 2010, Collection: Miyatsu Daisuke  
©Daisuke Miyatsu, Courtesy of the nca | nichido contemporary art



リム・ソクチャンリナ (Lim Sokchanlina)「国道5号線」2015年、宮津大輔氏所蔵  
Lim Sokchanlina (Cambodia) *National Road Number 5*, 2015, Collection: Miyatsu Daisuke  
©Lim Sokchanlina, Courtesy of the nca | nichido contemporary art

宮津大輔コレクション



1990年代以降、グローバル化と経済発展の波の中で、国際的に活躍するアジアのアーティストが続々と登場し、現代におけるアジアのアートは世界的な潮流のひとつとなっています。本展では、1990年代から国内外の現代アートを蒐集し、現在では日本のトップコレクターのひとりとして知られる宮津大輔氏のコレクションと当館所蔵作品を組み合わせ、現代のアジアの姿を映した東アジア、東南アジア地域の45作家の作品を紹介する初めての試みです。本展は、「1. ここで生きる私/Life」<sup>ライフ</sup>「2. 私の身体をおおうもの/Body」<sup>ボディ</sup>「3. 私が私であること/Identity」<sup>アイデンティティ</sup>「4. 私たちの現在、そして過去から未来へ/History」<sup>ヒストリー</sup>という4つの章で構成されており、会期中は福岡市内各所でアジアの現代アートに気軽に出来るサテライト展覧会も開催します。現代の揺れ動く日々を生き、そこから生まれる感情や情動を鮮やかに捉えたアジアのアートには、今を生きる「私」たちの姿が鏡のように写しだされることでしょう。本展がアジアの現代アートの現在に出会える機会となれば幸いです。



みやつ だいすけ  
宮津大輔 Miyatsu Daisuke

アートコレクター。横浜美術大学教授、森美術館理事。2022年よりFaN Week ("Fukuoka Art Next" Week)チーフディレクターに就任。広告代理店、上場企業の広報・人事管理職を経て現職。1994年、企業に勤めながら収集したコレクションや、アーティストと共同で建設した自宅が、国内外で広く紹介される。『アート×テクノロジーの時代』、『現代アート経済学』(光文社新書)や『現代アートを買おう!』(集英社新書)など著書多数。

[サテライト展覧会]

ボートレース福岡×チェ・ジョンファ

ボートレース福岡の芝生広場では韓国の美術作家チェ・ジョンファによる巨大なパルーンの作品を、東スタンドではバングラデシュの華やかなリキシャを展示します。

会期 | 9月23日(金・祝)～10月30日(日)間のレース開催日  
入場料 | 100円  
特別協賛 | ボートレース福岡  
※開場日時についてはボートレース福岡HP(<https://www.boatrace-fukuoka.com/>)をご確認ください。  
アクセス | 福岡市中央区那の津1-7-5 ※地下鉄天神駅(東1a出口)から徒歩約10分

■関連イベント

- ①「親子で楽しむ親子アートワークショップ」
- ②「アジアの絵本の読み聞かせ」

日時 | 10月9日(日)、10月16日(日)  
時間 | ①11:00-15:00、②13:00-13:30  
※①②ともに予約不要

会場 | ①ROKU、②女性こどもルーム

※イベント詳細は福岡アジア美術館HP (<https://faam.city.fukuoka.lg.jp>)をご確認ください。



チェ・ジョンファ「蘭園」  
(息をする花)2018年、作家蔵  
Che Johnfa (South Korea)  
Breathing Flower, 2018, Collection Artist

幻住庵×ヒルミ・ジョハンディ

仙厓和尚が余生を過ごした風情ある空間で、シンガポール気鋭の作家ヒルミ・ジョハンディによる映像インスタレーションを展示します。

会期 | 9月27日(火)～10月10日(月・祝) ※入場無料  
開場時間 | 10:00-17:00  
アクセス | 福岡市博多区御供所町7-1  
※地下鉄祇園駅(1番出口)あるいは呉服町駅(5番出口)から徒歩約10分。福岡アジア美術館から徒歩約15分。



ヒルミ・ジョハンディ「シンガポール」  
(息をする花)2014年、宮津大輔氏所蔵  
Hirumi Johandi (Singapore)  
Emerging Camellia, 2014, Collection: Miyatsu Daisuke  
©Hirumi Johandi, Courtesy of the Ota Fine Arts

吉塚市場リトルアジアマーケット×アジア現代映像セレクション

「アジア」に特化して共生の街づくりに取り組む吉塚市場リトルアジアマーケットで、アジア各国の多様な社会や文化を映し出す映像作品を上映します。

会期 | 9月23日(金・祝)～10月6日(木) ※入場無料  
開場時間 | 10:00-17:00 ※最終日10/6(木)は15:00まで  
アクセス | 福岡市博多区吉塚1-14-6-1F  
吉塚市場リトルアジアマーケット内アジアプラザ  
※JR吉塚駅東口から徒歩約5分



トモラマ「インドネシア」  
(ザン・ザン・ザン)2007年、宮津大輔氏所蔵  
Tomarama (Indonesian) Zia Zia Zia, 2007, Collection: Miyatsu Daisuke  
©Tomarama

[関連イベント]

ギャラリートーク ※予約不要、当日先着順(定員15名)、要展覧会チケット

宮津大輔氏と学芸員によるギャラリートーク

日時 | 9月17日(土)、9月24日(土)、12月24日(土) 各日とも14:00-14:45  
集合場所 | 福岡アジア美術館 アジアギャラリー受付(7階)

高大生限定 宮津さんとおしゃべりギャラリートーク

日時 | 11月5日(土) 14:00-14:45  
集合場所 | 福岡アジア美術館 アジアギャラリー受付(7階)

エモーショナル・アジア×

吉塚市場リトルアジアマーケット ※予約不要、入場無料



福岡はアジアの「アート」と「食」がよからうもん!

吉塚市場リトルアジアマーケット×宮津大輔氏スペシャルトーク

吉塚市場リトルアジアマーケット組合長・河津博博氏と西林寺住職・安武義修氏をお招きし、宮津大輔氏とともにアジアの「アート」と「食」から福岡の魅力と将来を語っていただきます。

日時 | 10月2日(日) 14:00-16:00  
場所 | 福岡アジア美術館 あじびホール(8階)

出張!吉塚市場リトルアジアマーケット アジアンフードマルシェinあじび

吉塚市場リトルアジアマーケットの美味しいアジアングルメがあじびに大集合!



日時 | 10月1日(土)、2日(日)、3日(月) 各日とも11:00-15:00  
場所 | 福岡アジア美術館 アートカフェ(7階)

秋のアートカフェ～ストリングシリーズ～ ※予約不要、入場無料

“ストリングシリーズ”と題して、9～11月の各月にジャンル異なる弦楽器の演奏会をお届けします。

場所 | 福岡アジア美術館 アートカフェ(7階)

※当日は観覧用のお席をご用意いたしますが、座席数には限りがございます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、事前申込みなどにより、ご入場を制限させていただく場合がございますので、ご了承願います。

主催 | (公財)福岡市文化芸術振興財団、福岡市  
問合せ先 | (公財)福岡市文化芸術振興財団 TEL 092-263-6265 (平日 9:30-17:00)

[第1弾] 里地婦 和胡の夕べ～長月のコンサート～

日時 | 9月16日(金) 18:30開演(開場は30分前)  
出演 | 里地婦(和胡)、富永隆浩(ピアノ)

[第2弾] KAWAKAMI ソロギターライブ

日時 | 10月29日(土) 18:00開演(開場は30分前)  
出演 | KAWAKAMI (ギター奏者)

[第3弾] 九響@アートカフェ Vol.8

日時 | 11月25日(金) 18:30開演(開場は30分前)  
出演 | 九州交響楽団メンバー(弦楽アンサンブル)

アジア珠玉の映像を楽しむ ※予約不要、当日先着順、要展覧会チケット

スクリーンで浸るアジア映像の傑作—21世紀中国の鬼才たち

宮津大輔氏と福岡アジア美術館が所蔵するアジア映像作品の傑作を特別上映します。

[Aプログラム]ヤン・フーデン特集 約84分

[Bプログラム]タオ・ファイ、ツァオ・フェイ特集 約61分

日時 | 11月5日(土)Aプログラム、11月6日(日)Bプログラム  
12月24日(土)Bプログラム、12月25日(日)Aプログラム  
各日とも11:00-と15:00-

※11月5日(土)と12月24日(土)15:00の回は  
上映前に宮津大輔氏による解説トーク(15分程度)つき

場所 | 福岡アジア美術館 あじびホール(8階)



ヤン・フーデン(中国)「樹」  
(見知らぬ天国)1997-2002年、  
福岡アジア美術館所蔵  
Yang Fudong (China)  
Emerging Paradise, 1997-2002,  
Collection: Fukuoka Asian Art Museum

福岡アジア美術館 Fukuoka Asian Art Museum 〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1  
リバーラインセンタービル7・8階

7・8F Floors, Riverain Center Bldg., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, Japan  
Tel: 092-263-1100 Fax: 092-263-1105 <https://faam.city.fukuoka.lg.jp>

交通案内

[市営地下鉄]  
中洲川端駅 6番出口

[西鉄バス]  
川端町・博多座前

[車]  
太宰府方面から  
都市高速千代ランプより7分  
北九州方面から  
都市高速呉服町ランプより5分  
リバーライン地下駐車場(有料)へは、  
昭和通りの中央分譲帯から入りください。

